

2 (月)	たいしつ えいえん いさん のこ で し 体質ー永遠の遺産を残す弟子たち	3 (火)	えいえん しぎょう つく ひとびと 永遠の嗣業を作る人々
ロマ 16 章 25〜27 節 ち え と ゆい い つ か み 知恵に富む唯一の神に、イエス・キリストによって、栄光 がとこしえまでありますように。アーメン。(27)		Ⅱ コリ 10 章 4 節 わ た し た た か ぶ き に く か み よ う さ い 私 たちの 戦 いの武器は肉のものではなく、神のために要塞 を打ち倒す 力 があるものです。	
か み さ ま と お わ た し り ょ て い み ち お く ぎ 神様は、キリストを通して 私 たちにやぐら、旅程、道しるべの奥義をくだ さいました。この奥義が刻印、根、体質になるとき、永遠の遺産を残すようになりま す。これを指して伝道と言います。このなかで Remnant が受ける答えは何でしょう か。		Remnant は、幼 い時から刻印することがあります。これが Remnant の中にやぐ らとして建つとき、えいえん の ぎ ょ う つく 永遠の嗣業が作られます。	
め き ん ど に ち じ だ い し ゅ や く き ん ょ う び や れ い に く た い い 1 つ目、金土日時代の主役です。金曜日には病んでいる霊、たましい、肉体を癒 やします。土曜日には、Remnant サミット運動をします。日曜には、礼拝を通し てみことばと祈り、伝道の流れに乗ります。2 つ目、霊的サミットの祝 福です。 いま う ん ど う お の で ん ど う な が の め れ い て き し ゅ く ふ く 今、ネフィリム運動が起こっています。それゆえ、Remnant は祈り運動と黙想運動 について知りましょう。そのとき、か み さ ま わ た し 神様が 私 にくださったことが具体化されて、 か み さ ま わ た し わ た し か く に ん 神様が 私 と 私 たち、すべてのこととともにおられることが確認できます。また、 ぜん せ か い い た づ め せ か い ふ く い ん か れ い て き い さ ん の こ 全世界を生かす答えを受けます。3 つ目、世界福音化の霊的な遺産を残しまし う。過 去、今 日、未 来を完全に解決したカルバリの丘の道しるべからローマの道 しるべまでが、わ た し の こ い さ ん み ち な か 私 たちが残す遺産です。この道しるべの中に Remnant がいるの です。		1 つ目、パパやママといっしょに確認して刻印することがあります。まず三つの まつ い み こ く い ん す ぎ こ し ま い す く ご じ ゅ ん せ つ せ い れ い か り い お さ い わ た し 祭りの意味を刻印しましょう。過越祭は救い、五旬節は聖霊、仮庵祭は 私 たち の霊的背景である御座を意味しています。三つの祭りを聖書や本などを通して か く に ん こ く い ん ほ う ほ う み つ せ い し ょ ほ ん と お 確認して、刻印できる方法を見つけましょう。2 つ目、えいえん の や ぐ ら が Remnant に伝えられるようにしましょう。カルバリの丘、オリーブ山、マルコの屋 上 の へ や け い や く つ た お さ な か な ら か み さ ま じ こ く ひ ょ う 部屋の契約が伝えられるのです。とても 幼 い Remnant にも 必 す 神様の時刻表が あります。ですから、パパやママの祈りが重 要です。3 つ目、パパやママの祈 り え い え ん し ぎ ょ う つ く せ じ ゃ う な か で い け ら や み せ い い りで永遠の嗣業が作られます。世の中に出て行けば、暗闇のやぐらが入ってくる しかありません。ですから、今神様が、Remnant の中に三位一体の神様と御座の やぐらを建てられるのです。過 去と今日、未 来という 3 時代を完全に終わらせた か み さ ま か み さ ま ち ら か こ き ょ う み ら い じ だ い かん ぜん お 神様についてと、神様からの 5 つの 力 について刻印しましょう。空 中 の 権 威 を も し は い し ゃ か ち ら か み さ ま あ た し 持つ支配者であるサタンに勝つ 力 も神様が与えてくださったと知りましょう。 お さ な と き み い の 幼 い時にあらかじめ CVDIP が見えるように祈りましょう。そのようにして、3 つの庭が作られます。	
Remnant は三つの答えを見つけましょう。問題、葛藤、苦しいこと、危機が来たら、 逃げるのではなく、か み さ ま 神様がくださった契約を見て、大胆に祈りで挑 戦しま しょう。		Remnant のなか か み さ ま こ く い ん い の の中に神様のことが刻印されるように祈りましょう。	
か み さ ま か み さ ま り ょ て い み ち わ た し こ く い ん ね た い し つ 神様、神様がくださったやぐら、旅程、道しるべが私に刻印、根、体質になり ますように。生きておられるイエス・キリストの御名によってお祈りします。 アーメン		か み さ ま わ た し な か え い え ん し ぎ ょ う つく い 神様、私 の中に永遠の嗣業が作られますように。生きておられるイエス・キリ ストの御名によってお祈りします。アーメン	

4 (水) えいえん さくひん 永遠の作品	使2章1～13節 五旬節の日になって、皆が同じ場所に集まっていた。すると天から突然、激しい風が吹いて来たような響きが起こり、彼らが座っていた家全体に響き渡った。(1-2) 神様は Remnant の時期に世界福音化できる準備をさせていただきます。永遠の作品を作る旅程を歩むのです。 1つ目、Remnant には神様がくださった強固な土台と、必ず勝利できる奥義があります。これがRemnant の旅程です。この旅程を歩むときに苦しいことがあります。戦わずに勝つ確信、まわりの流れを見る奥義と、あらかじめ何をやるかが分かる答えを神様が与えてくださいます。すると、Remnant が行くすべての歩みはキャンプになります。2つ目、Remnant の旅程を歩んでいると、ただ、唯一性、再創造の作品が出て来ます。時代ごとにわざわいがありましたが、神様はRemnant を立てられました。教会が門を閉ざすわざわい時代の今、Remnant を呼ばれたのです。3つ目、神様の契約が入れば、Remnant の学業は237か国5千種族を生かす力になります。Remnant が起きるたびにわざわいを止めました。これが福音です。福音が宣べ伝えられれば、神様の光が臨みます。Remnant は、まだ福音を聞いていない5千種族のことを祈りましょう。 世界福音化する永遠の作品を準備することを祈りましょう。 神様、世界福音化する永遠の作品を今から準備しますように。生きておられるイエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン
5 (木) えいえん いさん 永遠の遺産	ロマ16章25～27節 私の福音、すなわち、イエス・キリストを伝える宣教によって、また、世々にわたって隠されていた奥義の啓示によって――永遠の神の命令にしたがい、預言者たちの書を通して今や明らかにされ、すべての異邦人に信仰の従順をもたらし、知らされた奥義の啓示によって、あなたがたを強くすることができる方、知恵に富む唯一の神に、イエス・キリストによって、栄光がとこしえまでありますように。アーメン。 Remnant の中に神様が建てられた*7やぐらはプラットフォームになります。*7旅程は、光を放つ見張り台になり、*7道しるべは世界を生かすアンテナになります。そのときから、どんな答えが与えられるのでしょうか。 1つ目、神様が絶対やぐらを建てられる道しるべが出て来ます。イエス様が十字架で私たちのわざわいをすべて解決してくださいました。これがカルバリの丘の道しるべです。神の国のことが成し遂げられるオリーブ山の道しるべ、五旬節の働きが起こるマルコの屋上の部屋の道しるべです。どんな事をするのにも、答えと霊的な力を先に受けましょう。そうしている中で、門がふさがれば、それは神様から与えられたターニングポイントです。そして、パウロがローマに行った答えを受けます。2つ目、Remnant は必ず読む必要がある本とみことば、偉人とキリスト、偶像崇拜と三つの祭りについて知りましょう。そして、霊的な存在と祈りが何かについて知りましょう。すると、タラントが発見できて、専門性が出て来ます。3つ目、Remnant は金土日時代の主役になります。金曜日は癒やしの日です。そして、土曜日はサミット運動の日で、日曜はみことばと祈り、伝道時代の流れについて聞く日です。 Remnant は単なるやぐらではなく、絶対やぐらを神様が建ててくださり、世界が生かされるのを見るように祈りましょう。 7やぐら-三位一体、御座の力、3時代、空中の権威を持つ支配者に勝つ力、5力、未来、地の果ての力 7旅程-三位一体、10奥義、10土台、5確信、9流れ、一生の答え、キャンプ 7道しるべ-カルバリの丘、オリーブ山、マルコの屋上の部屋、アンティオキア、アジア、マケドニア、ローマ 神様、絶対やぐらを建てるRemnantとして祈ることができますように。生きておられるイエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン

6 (金)	うえ　　あた　　ちから　　み 上から与えられる 力 を見たレムナント
	使 19 章 8 節　パウロはかいどう　はい　さん　げつ　あいだいたん　かた　かみ　くに 論じて、人々を説得しようと努めた。 Remnant は上から与えられる 力 を受けます。初代教会の人々は、だれも知らない 祈りの奥義を持っていました。それゆえ、世界を生かす証 人の答えを受けた のです。それなら、神様が初代教会の人々にどんな準備をされたのでしょうか。 1 つ目、マルコの屋 上 の部屋で起こった聖霊の働 きを、そのとおり体験しまし た。Remnant は、すべての始まりで霊的サミットの時間を味わいましょう。どん な苦しみの中でも、霊的サミットのじ かん あじ　Remnant のせいこう　おくぎ です。2 つ目、会堂で神の国のことについてみことばを伝えました。神の国が臨め ば、まことの答えが与えられます。今この時間、聖霊が私 の中に臨んで、御使 いが働 き、神の国がなされます。3 つ目、そのあとから、目に見える答えが見 えるようになります。福音によって病氣の人が治って、聖霊の 力が臨みます。 すると、いのちの光 が現れるので、聖霊の働 きが起こります。 かみさま　Remnant に、うえ　ちから　あた　しょうにん　じゅんぴ 神様は、上からの 力 を与えて証 人として準備してくださっています す。どんな 状 況 の中でも、Remnant は神様が与えてくださる 力 を持っている 証 人だということを忘れないようにしましょう。
	かみさま　かみさま　あた　　ちから　　う　　きょう　　い　　もんだい　　くる 神様、神様が与えてくださる 力 を受けて今日を生きますように。問題、苦しい ことの中で、かみさま　けいやく　を握るレムナントになりますように。生きておられる イエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン

7 (土)	うえ　　あた　　ちから　　も　　でんどう　で　し 上から与えられる 力 を持っている伝道弟子
	使 19 章 21 節　これらのことがあった後、パウロはあと　みたま　しめ 福音以外のことが多くなった教会は、貧しさ、病氣、無能で苦しんでいます。 このような教会は全世界に起きているわざわいと、崩れていく次世代を止める ことができません。その結果、世界教会が門を閉めていっています。今、この 現実の前で、イエス様は何を語っておられるのでしょうか。 1 つ目、イエス様は目に見える 幸 いがまことの幸 いではないと言われました。 Remnant は、目に見えることを求める祈りではなく、神の国と神様のみこころを 求める祈りを始めましょう。2 つ目、イエス様は、三位一体の神様が与えられる 御座の祝 福を味わいなさいと言われます。立派な牧会者が必要なのではなく、 さんみいったい　かみさま　ちから　し　御座の祝 福を味わう伝道者がひつようです。3 つ目、 イエス様は、神様の絶対主権を認めて、正確な聖霊の 導 きを待ちないと言われ ました。すると、神様が与えてくださる旅程を進むと言われました。最後にイエ ス様は、キリストの契約を正確に持って、神様が開いてくださる門に向かいなさ いと言われました。 Remnant はイエス様が語られたとおり、正確な契約を持って、正確な聖霊の 導 き を受けましょう。世界のわざわいを止める道は、教会にただ福音が回復される ことです。
	かみさま　ふくいん　かいふく　きょうかい　せ　かい　と　もち 神様、ただ福音が回復された教会によって、世界のわざわいを止めることに用 いられる Remnant になりますように。生きておられるイエス・キリストの御名 によってお祈りします。アーメン